



星のまち 保育園

Star Town Nursery School

平成 29 年度

入園のしおり



〒464-0801 名古屋市千種区星ヶ丘元町 3-6

NTT 西日本東山ビル

TEL : 052-781-2155 FAX : 052-781-2159

URL : <http://www.hoshinomachi.philos2011.com/>

目次

1・保育園の特色	P 1
2・保育内容	P 5
3・保育園の概要&諸規則	P 6
4・安全対策	P12
5・衛生管理	P14
6・苦情処理	P16
＜巻末資料＞	
○服装・持ち物リスト	P17
○治癒証明書	P22
○子どものかかりやすい病気と休園の目安	P23
○S I D S（乳幼児突然死症候群）	P24
○予防接種と対象年齢	P25
○与薬依頼書について	P26
○与薬依頼書	P27

この度はご入園誠にありがとうございます。

星のまち保育園は、少人数クラスのととてもアットホームな保育園です。お子さま一人ひとりに目を向け、個々の能力が育つように見守って参ります。

子どもたちは、保育園の集団生活の中でさまざまな学びをし、友だちとの遊びや関わりを通して大きく成長します。特に、幼少期に身体を使って思いっきり遊ぶ体験は、健やかな心身を育むうえでとても大切です。

次にしつけも大切です。当園では、基本的な生活習慣の確立とともに、社会生活を送るうえで必要な素養を育みます。そして、楽しく学びます。2歳児クラスからは、日本語・英語（外国人講師）・数・自然環境などを楽しく学ぶ環境をつくります。音楽活動、造形活動にも取り組みます。

職員が一丸となり、安心・安全な保育を実施して参ります。「子ども第一主義」を貫き、子どもたちが何よりも保育園に行くのが楽しいと思え、卒園後もたまには保育園に遊びに行きたいなど思えるような園づくりを目指します。

『「見守る」、「ほめる」、「対話する」ことを基本に、「愛情」をかけ、「しつけ」をし、「すこやかな身体」、「心と言葉」、「自立と協調」性を育み、「自己解決」できる子どもたちを育てる』という当園の保育目標の達成、そして園児、保護者、地域の皆さまに愛される園づくりに向かって、職員一同、全身全霊で邁進して参る所存です。

最後になりますが、保育は保育園だけで成り立つものではありません。ご家庭と保育園、そして地域が密に連携をとることで更に良質な保育ができると思います。私どもも精いっぱい努力いたします。保護者の皆さまにおかれましても、可能な限り園運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1・保育園の特色

■保育理念■

子どもたちの最善の利益を最優先し、養護と教育が一体となった保育をすすめます。

■保育方針■

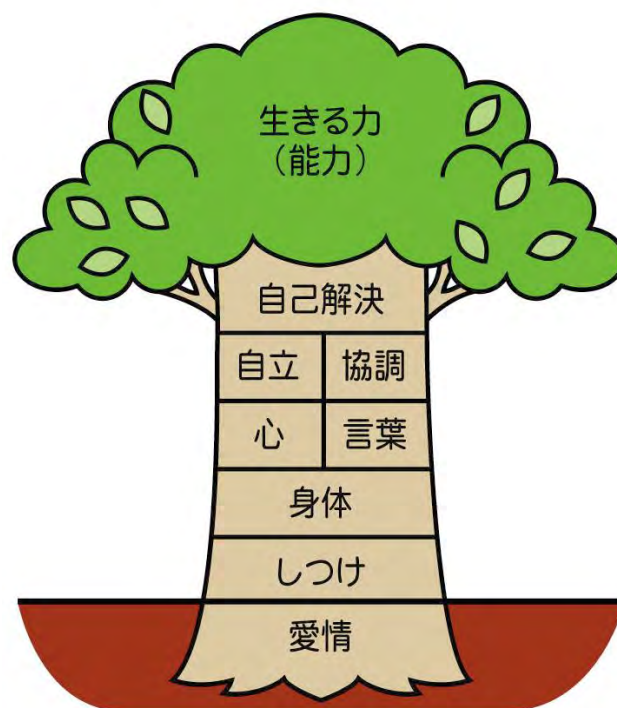
すこやかな心身と生きる力の素地を育みます。

■保育目標■

「見守る」「ほめる」「対話する」ことを基本に、

- ①「愛情」をかけ、
- ②「しつけ」をし、
- ③「すこやかな身体」、
- ④「心と言葉」、
- ⑤「自立と協調」性を育み、
- ⑥「自己解決」できる子どもたちを育てます。

■保育園の特徴■



特徴1 思いっきり遊ぶ

乳幼児期の子どもたちは毎日が「あそび」です。子どもたちは遊びのなかで育ちます。保育士やお友達との関わりを通して、たくさんのに気づきます。遊びを通し、「感性・積極性・集中力・運動能力・協調性・意欲」などバランスよく身につけ、年齢・月齢に合わせた遊びを十分に楽しみます。

1. 「お散歩」であそぶ

一人で歩けるようになった子どもたちは、じっとしてられません。もっと大きな世界を冒険したくなります。そんな時、星のまち保育園の近くには「東山公園」「平和公園」があります。広い公園で思いっきり身体を動かせば、きつとお腹はぺこぺこ…。「おかわり！」の声も聞こえてきます。

2. 「自然」とあそぶ

雨の音、土のにおい、風の気配、虫の声など、子どもたちのまわりにはたくさんの自然があります。季節ごとの空や雲、暑さ寒さも、ちょっとした言葉がけで子どもたちの好奇心を刺激します。子どもたちが感じた自然をご家庭でも味わっていただき、共に自然や環境への気づきを育みます。

3. 「手や指先」とあそぶ

「手は第二の脳」と言われるほど、脳の機能に関係しています。指先の能力は、知能だけでなく「心」や「性格」にも関わる基本的な能力です。つまむ・にぎる・ねじる・ひっぱるなど指先を使う遊びをすることで脳を刺激します。一人でお座りできるようになれば、両手を使うことができ遊びはどんどん広がっていきます。指先の遊びをたっぷり経験させ、自立への土台を育みます。

4. 「からだ」をつかってあそぶ

自立には順番があります。「肉体的な自立」→「心の自立」→「知的な自立」の順にレベルアップしていきます。肉体的な自立を安定させる「手足の運動能力」をしっかり育てることは、とても大切です。子どもたちの発達段階を基に、「あるく・とぶ・ぶらさがる・なげる・ける」などの遊びを十分に楽しみます。

5. 「目で見て」あそぶ

見る能力と指先の能力を同時に使うことで、「見る」→「観る」へと育ちます。これは、自立や感性の基盤となるとても大切な能力であり、「学ぶ力」や「思考力」とも深く関わっているとされています。子どもたちは元来自分の目で見て考えて行動する力を持っています。自由な空間と、満足のできる時間、適切な遊具などの環境を整えることで、「見て、考え、行動する力」を育てます。

6. 「ことば」であそぶ

人は言葉でコミュニケーションをとり、感情や意志を表現します。子どもが自ら発話できない時期でも、他者が発する言葉を、それぞれの場面で意味を成す文章としてイメージできるようになると、子どもは相手の話す内容を十分に感じ取ることができるようになります。このように、言葉を聞いて場面として感じ取る能力が最初の「言語能力」です。ごっこ遊びや絵本の読み聞かせ、パネルシアターなどで「みる・きく・さわる」ことによって、言語能力を刺激します。音声による言葉がイメージできるようになると、次に文字に気づき、そしてやがて文字にも興味を持ち始めます。一人ひとりの発達に合わせ、無理なくことば遊びを楽しみます。

7. 「えいご」であそぶ（外部講師）

外国人講師による英語レッスンです。歌や遊びを取り入れたとても楽しい内容で、外国人と違和感なく接することができるようになり、異文化にも触れます。

8. 「かず」であそぶ

広い視野が判断力・思考力・創造力を生み出します。さまざまな物の中でどれが一番大きい物かを感じ取る力や、どれが一番多いかを感じ取る力などを育み、次に関係性を把握する力を養います。単に「1・2・3（イチ・ニ・サン）」と読めることや「1 + 1 = 2」と言えることではなく、「かず」の概念を育みます。

9. 「造形」あそぶ

通常保育内でも絵画・造形活動に親しみますが、定期的に外部講師を招いて様々な取り組みをすることにより、子どもたちの感性を開花させます。

特徴2 土台をつくる

ご家庭とも連携を図り共通のしつけに努めます。普通のこと普通でできること、これは、人間として成長していくうえにおいてとても大切な素養（土台）となります。

以下のしつけ等を根気よく行っていきます。ご家庭でも同様のしつけを心がけていただけるようお願いいたします。

1. 態度教育

①あいさつ

・次のようなあいさつが元気よくできるように促します。

「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」「ありがとう」「ごめんなさい」「いってきます」「ただいま」「おやすみなさい」「貸して」「入れて」など

②返事

・「はい」とハキハキ元気よく返事をする。

③くつをそろえる

・くつやトイレのスリッパをきちんとそろえて脱ぐ。

④立腰（りつよう）

・背筋を伸ばして正しい姿勢で座る。

⑤食作法（じきさほう）…3歳以上

- ・食に感謝する。
- ・「いただきます」「ごちそうさま」を言う。
- ・口を閉じて食べる。
- ・ひじをついて食べない。
- ・お茶を飲むときには箸を置く。
- ・箸、フォーク、スプーンなどを正しく使う。

⑥ルールを守る

- ・安全な遊び方や交通ルールを理解し、守る。
- ・団体生活に関わるさまざまな規範を身につける。

2. 基本的な生活習慣の確立

①食事

- ・登園前に家で必ず朝食を食べる。
- ・食べる喜びを味わい、みんなと楽しく食事をする。
- ・よく噛んで食べる。
- ・なるべく好き嫌いをなくす。
- ・食材に対する知識や関心を高める。

②排泄

- ・毎朝の排便習慣を身につける。
- ・トイレでの排泄に関心を持つ。

③睡眠

- ・早寝早起きの習慣を身につける。(夜は遅くとも9時には寝る。)
- ・保育所内の昼寝は、夏場を除き、年少さん(3歳児の前半)までとする。

④衣服の着脱

衣服の着脱が上手にできる。徐々にすばやくできるようになる。

⑤清潔

手洗い・うがい・洗顔・歯磨き・鼻かみが上手にできる。

⑥お手伝い

動植物の世話・給食の準備・後片付け・清掃・年下の子の面倒見などが能動的にできる。

特徴3 楽しく学ぶ

1. 日本語

保育士と児童、並びに児童間の対話（コミュニケーション）を積極的に行うとともに、たくさんの絵本の読み聞かせを行います。

また、年少さん（3歳児）は、文字（ひらがな・カタカナ）にも触れていきます。そもそも子どもたちは文字に対して興味、関心があります。これが大きなエンジンとなって、カルタあそび、文字書き、ゲームなどを通して、自ら学べる環境を整えていきます。いずれ、自分で読め、絵と文字を使って自己表現を楽しめるようになります。

言葉（日本語）は心（情緒）と思考を育てます。母国語によるコミュニケーション能力、自己表現能力は生きる力の一助となります。

2. 英語

2歳児クラスから週に1回、（年間約40回）外国人講師による本格的な英語レッスンを行います。

2歳児クラス以外でも不定期ではありますが、歌や遊びを通して外国人講師と触れ合う機会をつくります。

英語学習も子どもたちにとっては遊びの延長のようなものです。幼児期の子どもたちの耳はとても柔軟で、英語もしみこむように入っていきます。

また、外国人とも違和感なく接することができるようになります。ちょっとした異文化にも触れます。ハロウィンやクリスマス会は外国人講師主導で行います。

当園の英語学習がきっかけとなり、また本人の努力もあって、将来多くの卒園児が英語を使えるようになってくれればと思います。グローバル社会において「英語のコミュニケーション能力」は生きる力の一助となります。

3. 数

年少さん（3歳児）より「数」の概念に触れていきます。子どもたちは「数」にも興味を持っています。日常生活に「数」はいっぱい存在します。単純に数を教えるのではなく、遊びや日常生活の事象のなかで、「数」に慣れ親しみます。

4. 自然・環境

園舎の環境や課外体験活動を通して、子どもたちが身の回りの自然や環境に関心を寄せ、不思議さや感動を味わう環境づくりに取り組み、子どもたちの好奇心を育てます。

子どものころの好奇心は「知を獲得する原動力」です。子どもが発する「なぜ？どうして？」はまさに好奇心の表れです。私たちは子どもたちが発する「なぜ？どうして？」に対し、言葉で説明してしまうのではなく、子どもたちといっしょに考える環境をつくり、子どもたち自身が満足できるまでつき合うことが大切だと考えます。

虫メガネで観察する、みんなで討論する、ときには図鑑やインターネットで調べるなど方法はいろいろありますが、その過程こそが重要です。大人から短絡的に言葉で答えを聞いても子どもたちの好奇心は満たされません。答えが出なくてもいいのです。本人が満足できるまで考える空間さえあればいいのです。こうした空間を体験した子どもは、探究心、感性、自分で考える力を自然に身につけていきます。

「自分で課題を見つけ、自分で解決する方法を探り、自分で解決する」力は、まさに実社会でも必要とされる資質です。

5. 音楽

わらべ歌やリズム遊びなどを、日々楽しんでいます。

3歳児クラスは、各種打楽器などの楽器にも親しんでいます。

子どもたち自身の興味、関心を引き出しながら、子どもたち自身が音楽を楽しむことができるような環境づくりをしていきたいと思っています。

6. 体育

体操、施設内でのさまざまな遊びを通して、日ごろから十分に身体を動かす機会をつくります。

7. 造形遊び

絵を描いたり、作品を作るという造形活動の他に、遊びを中心としたアートの要素を取り入れ、子どもたちの豊かな感性を育むと共に好奇心・探究心・思考力を養います。

2・保育内容

1. 0歳児～2歳児

- ①保護者さまとの触れ合いを通して安定した園生活を過ごすことにより、生活リズムを整えます。
- ②子どもたち個々の状況に応じて対応し、基本的な生活習慣の確立を目指します。
- ③子どもたちの好奇心を満たす遊びやわらべ歌、リズム遊びなどを導入し、保護者さまや他児との交流を促します。
- ④絵本の読み聞かせや話しかけにより、母語の成長を促します。

2. 3歳児

- ①身体を使って思いっきり遊ぶ環境をつくります。
- ②基本的な生活習慣の確立、態度教育（しつけ）を通して「土台づくり」を行います。
- ③楽しく学ぶ環境をつくります。
- ④遊びであれ文化活動であれ、子どもたちが自発的かつ意欲的に取り組むことができる環境をつくります。
- ⑤他児とかかわる遊びや活動を通して、コミュニケーションや団体生活におけるルールの重要性を自然に学ぶ環境をつくります。
- ⑥年少者の面倒をみることをできるよう促します。
- ⑦子どもたち自身で問題解決ができるよう促します。
- ⑧積極的にお手伝いができるよう促します。
- ⑨食育や収穫を通して食に対する興味を育み、偏食を克服できるよう促します。
- ⑩絵本の読み聞かせを通して母語の成長を促します。
- ⑪遊びを通して「数」の概念を知っていきます。
- ⑫週に1回（各30分）外国人講師による楽しく身につく英語のレッスンをを行います（テキストあり）。
- ⑬自然・環境に対する興味、関心を育みます。
- ⑭体操や各種運動を行います。

3・保育園の概要&諸規則

1. 定員

40名(0歳児～3歳児)

2. 保育時間等

1) 開園時間：月曜日から土曜日の7時～19時

- ・朝延長保育 : 7時～8時(短時間認定の方は別料金がかかります。)
- ・通常保育 : 8時～16時(クラス別を主体とした保育)
- ・延長保育 : 16時～19時(短時間認定の方は別料金がかかります。)

※18時～19時まででは有料となります。(1回250円 ※10回分 <¥2,500> のカードをお求めください。)

2) 休園日：日曜日・祝日・12月29日～1月3日

- (注1) 延長保育・土曜日保育をご希望される場合には、所定の用紙に必要事項をご記入のうえ事前にお申込みください。ただし、保護者さまのお仕事がお休みの日は原則通常保育時間の預かりとなります。
- (注2) 欠席・遅刻・早退・延長の場合は午前9時までに園にご連絡ください。病欠の場合は合わせて症状もお知らせください。
- (注3) 環境事項(保護者さまの勤務先・勤務時間・住所・電話番号・家族構成等)に変更が生じた場合には必ず園にお知らせください。
- (注4) 産休・育休に入る場合には必ず園にお知らせください。
- (注5) 保育園を退園または転園する場合は、判明した時点で必ず園にお知らせください。

3. 登降園

- 1) 通常保育(8:00～16:00)の場合は、8:00～9:00までに登園、15:30～16:00の間にお迎えをお願いいたします。朝延長保育・延長保育をご希望の際には、事前に登園・降園希望時間を園にお知らせください。
- 2) 登降園については、保護者さま各自で責任を持ち、事故のないようお気をつけください。
- 3) お車での送迎は可能ですが、駐車場はありませんので、近隣のコインパーキングを利用させていただくこととなります。時間帯によっては混雑する場合がありますが、その際は保護者間で注意を払い、事故等に十分お気をつけください。
- 4) 原則毎朝ご家庭で検温し、熱が37.8℃以上ある時や身体に異常がある時は、できる限りご家庭で過ごすようにしてください。
- 5) 保育中に体調が悪くなった場合には、園より保護者さまにご連絡、ご相談のうえ対処いたします。お子さまの状態によっては通常より早めのお迎えをお願いする場合があります。
- 6) 登園時には、お子さまに食べ物やおもちゃ、お金などを持たせないでください。
- 7) 送迎については、事前に送迎予定者全ての氏名及び写真のご提出をお願いいたします。登録者以外の方にお子さまを引き渡すことはいたしません。
登録者以外の方がお迎えに来られる場合には、必ず事前に園にご連絡ください。
- 8) 朝食は幼児期の正常な発育に不可欠ですので、必ずご家庭で毎朝朝食を摂るようお願いいたします。また、できるかぎり登園前に排便を済ます習慣をつけてください。

4. 災害時

1) 台風のと看

- ・午前6時の時点で「暴風警報」が発令されている場合には、午前中は休園となります。
- ・午前11時の時点で「暴風警報」が解除された場合には、午後からの開園となります。
- ・午前11時の時点で「暴風警報」が解除されない場合には、終日休園となります。
- ・登園後に「暴風警報」が発令された場合には、できるかぎり早くお迎えに来てください。
- ・「大雨・洪水警報」が発令され、地域的に危険が予測される場合には、登園を見合わせてください。

2) 地震のおそれのあるとき

- ・登園前に「東海・地震注意情報」が発令された場合には、終日休園となります。
- ・登園後に「東海・地震注意情報」が発令された場合には、できるかぎり早くお迎えに来てください。
- ・「警戒宣言」が発令された場合には、休園となります。

※災害時には、保護者さまからの電話によるお問合せが殺到し、対応が困難になることが予測されるため、①園のホームページ上でお知らせ、②保護者さまへの携帯メール一斉送信の2通りでお知らせいたします。

5. 服装・持ち物

- ・着脱しやすく清潔な衣類を着用してください。
- ・2、3歳児は、園指定の制服で登園してください。(夏期は体操服での登園になります。)
- ・「連絡帳」は毎日必ずご確認ください。

※年齢別「服装・持ち物リスト」は巻末(P17~20)をご確認ください。

6. 一日の流れ

0歳児（ウサギぐみ）		1歳児（コアラぐみ）	
7:00～8:00	開園・朝延長保育 (0～3歳児：合同保育) 順次登園・視診	7:00～8:00	開園・朝延長保育 (0～3歳児：合同保育) 順次登園・視診
8:00～	室内自由遊び	8:00 9:00	室内遊び 朝のおやつ（果物）
10:00～	主活動	10:00～	主活動
10:50～	昼食	11:00～	昼食
11:40～	午睡	11:50～	午睡
14:45～	おやつ	14:45～	おやつ
15:30～16:00	降園準備⇒順次降園	15:30～16:00	降園準備⇒順次降園
16:00～	延長保育	16:00～	延長保育
17:00～	0～3歳児：合同保育	17:00～	0～3歳児：合同保育
18:00～	延長保育 (1回250円・おやつ代含む) 合同保育	18:00～	延長保育 (1回250円・おやつ代含む) 合同保育
19:00	閉園	19:00	閉園

2歳児（パンダぐみ）		3歳児（つきぐみ）	
7:00～8:00	開園・朝延長保育 (0～3歳児：合同保育) 順次登園・視診	7:00～8:00	開園・朝延長保育 (0～3歳児：合同保育) 順次登園・視診・着替え
8:00～ 9:00	自由遊び 朝のおやつ（果物）	8:00～	自由遊び
10:00～	主活動	10:00～	主活動
11:10～	昼食	11:20～	昼食
12:00～	午睡	12:10～	休息
14:45～	おやつ	14:45～	おやつ
15:30～16:00	降園準備⇒順次降園	15:30～16:00	降園準備⇒順次降園
16:00～	延長保育	16:00～	延長保育
17:00～	0～3歳児：合同保育	17:00～	0～3歳児：合同保育
18:00～	延長保育 (1回250円・おやつ代含む) 合同保育	18:00～	延長保育 (1回250円・おやつ代含む) 合同保育
19:00	閉園	19:00～	閉園

7. 年間予定

4月	入園式・クラス懇談会	10月	運動会・ハロウィンパーティー
5月	端午の節句・個人懇談	11月	生活展
6月	親子遠足・歯科健診	12月	クリスマス会
7月	七夕会・水遊び・保育参観	1月	
8月	水遊び	2月	豆まき・保育参観
9月	防災訓練・内科健診	3月	ひなまつり・巣立ちの会・内科健診

8. 給食・おやつ・食育

当園では、専属の栄養士、調理師が子どもたちの健やかな成長を願い、愛情を込めて毎日給食やおやつを手づくりします。基本的には、名古屋市が作成した栄養バランスに優れた献立に沿いますが、ときどきオリジナルの給食をご提供します。また、子どもたちの健康と味覚の成長を促すため、味付けは薄味を心がけます。

当園の調理室はガラス張りになっていますので、子どもたちは調理師の作業を見ることができ、給食ができあがるのをワクワクして待ちます。

時々子どもたちも一緒に、おやつ作りや調理も体験します。

1) 給食・食育の目標

①乳幼児期の子どもの健康な身体を育む。	⑥嗅覚を育む。
②食に対する興味・関心を育む。	⑦咀嚼（そしゃく）する力を育む。
③食に対する感謝の気持ちを育む。	⑧なるべく好き嫌いをなくす。
④食欲を育む。	⑨楽しく食べる習慣を身につける。
⑤味覚を育む。	⑩基本的な生活習慣を確立し、食作法を身につける。

2) 離乳食について

噛むこと（咀嚼）は健やかな身体づくりに重要な要素です。よく噛まない子どもは、あごの力が育たず、内臓に負担をかけるとともに、将来大食いになりやすいと言われています。離乳食のときから、それぞれの子どもに合った調理をすることで、よく噛んで食べる習慣を育みます。

健康と味覚を育むため、基本的にほとんど味付けをしません。子どもたちは食材本来の豊かな味わいを自然に覚えていきます。

1歳児までは、卵や乳製品、小麦など、食物アレルギーの出やすい食品の使用は控えます。

また、同じ食材が繰り返さないよう配慮いたします。

3) 食物アレルギーの対応について

近年、食物アレルギーをもつ子どもが増えています。アレルギーや持病については、入園時に保護者さまより詳細情報をご提供いただき（医師記入の書類の提示を求めます）、園と相談のうえ、食物アレルギー対応給食が必要な場合は集団給食のなかで可能な範囲の除去食を用意いたします。

症状によっては、園内での対応が困難な場合もありますが、その際は個々にご相談いたします。

食物アレルギーの対応食の実施にあたっては医師の指導に基づき、ご家庭と連携を密にしてすすめていきます。

4) その他

①午後3時ごろに手づくりのおやつを提供します。

(0歳児・1歳児・2歳児には、午前9時ごろに果物中心のおやつも提供します。)

②毎月献立表を発行します。

③園では給食職員も工夫し、またみんなでいっしょに楽しく食べる環境をつくるなどして、少しでも偏食を克服できるよう努めますので、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

※「星のまち保育園・年齢別食育計画」は巻末(P21)をご確認ください。

9. 病気・与薬・予防接種について

1) 毎日のお子さまの体調変化にはご家庭でも十分気を配ってください。

2) お子さまの体調がすぐれないときには、園への欠席連絡とともに、早めに医師の診察を受け、回復するまでご家庭で療養してください。

3) 下記感染症の場合は登園できません。園指定の「治癒証明書」の提出をお願いいたします。

<第2種学校伝染病(結核を除く)>

- ・ インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1)を除く)
- ・ 百日咳
- ・ 麻疹
- ・ 流行性耳下腺炎(おたふく風邪)
- ・ 風疹
- ・ 水ぼうそう
- ・ 咽頭結膜熱(プール熱)

※「治癒証明書」は巻末(P22)をご確認ください。「治癒証明書」は園でも入手できますし、園のホームページからもダウンロードできます。

※「SIDS(乳幼児突然死症候群)」も巻末(P24)をご確認ください。

4) 「予防接種記録票」には入園前の情報を全てご記入ください。

「予防接種記録票」は毎年年度末(3月)にお渡しいたしますので、ご記入のうえ園にご返却ください。

※「予防接種と対象年齢」は巻末(P25)をご確認ください。

5) 薬の受け渡し

与薬については、原則保護者さまにご登園いただきお願いするものですが、やむを得ない場合には、保育士が代わりに行います。その際は、安全確保と事故防止のため、園指定の「与薬依頼書」をご提出いただきます。

薬の「受取」は必ず「手渡し」で行います。連絡帳ケースやかばんの中での保管は、誤飲事故につながりますので厳禁とします。

かぜ薬などの市販薬はお預かりできません。

※「与薬依頼書について」及び「与薬依頼書」は巻末(P26、27)をご確認ください。これらは園でも入手できますし、園のホームページからもダウンロードできます。

10. その他

- 1) 毎月「園だより」を発行し、当該月の行事・クラスの様子・お誕生日の子の紹介・子育て情報などをお届けいたします。またホームページの「スタッフブログ」でも活動の様子をアップしています。
- 2) 個人情報については、社会福祉法人法第82条の規定に基づきその適正な取り扱いを厳守いたします。
ホームページ上で個人情報を掲載することはありませんが、活動記録の写真を掲載する際、園児の顔が特定できるような場合には、必ず事前に保護者さまの了承を得るようにいたします。
- 3) 学用品以外の諸費用について
入園時にご購入いただく学用品については、別紙「学用品一覧」をご参照ください。
学用品以外の諸費用は以下の通りです。

	項目	平成 29 年度
1	教材費（3歳児クラス）	月額 1,500 円
2	主食費（3歳児クラス）	月額 900 円
3	遠足・保育祭り等のバス代金	実費負担

※ 延長保育料について

●通常保育時間の方 18:00～19:00 1回 250 円（おやつ代 50 円含む）

●短時間保育の方 ①16:00～18:00 1回 100 円

②18:00～19:00 1回 250 円（おやつ代 50 円含む）

※A 階層・B 階層の方につきましては、延長保育料は 1回 50 円（おやつ代のみ）となります。

4・安全対策

当園では、以下の安全対策を実施します。

1. 不審者対策

1) 園内セキュリティーシステム

当園では以下のセキュリティーシステムを構築し安全対策を行います。

- ① 非常事態に対するあらゆる対応(警報ベル / 警察・消防への直通連絡 / 安全対策管理者への自動連絡など)を行います。
- ② 電子錠付門扉による入退管理。

2) お迎え

入園時にご登録いただいた送迎者以外の方には決して園児をお引渡ししません。

園児のお迎えを代理の方に依頼される場合には、保護者より事前の連絡が必要となります。

3) 不審者情報

当園では他機関とも連携し、地域の不審者情報の収集に努めています。同時に、保護者の皆さんからも情報を収集し、関係者全員で情報を共有します。

4) 不審者侵入防止訓練

年に1回不審者侵入防止訓練を実施します。園児の安全を守るための避難経路確保、不審者撃退、通報等の訓練を職員全員で行います。

2. 災害対策

1) 防災計画

保育園の防災計画を管轄消防署に提出しています。年間防災計画は毎年4月に策定します。

2) 避難訓練

火災、及び地震を想定して毎月1回、年12回避難訓練を実施します。6月・9月は名古屋市指導による防災訓練を実施し、通報訓練等も行います。

3) 自衛消防組織

提出済の「消防計画」に基づき、防火管理者を隊長とした自衛消防組織の編成を行います。防火管理者は園が選任し、園内に氏名を掲示しています。

4) 防火管理者業務

① 避難訓練年間計画に基づき、毎月の避難訓練の計画を策定します。

② 避難訓練実施の結果を記録、保存します。

③ 日常の安全点検を実施し、職員へ指示を出します。

- ・ 家具等は転倒防止策を講じる。
- ・ 棚は重いものを下に収納し、重心を低くする。
- ・ 棚等に収納されたものが落下しないように策を講じる。
- ・ 燃えやすいものを撤去する。

④ 年に2回、自主点検し「自主点検チェックリスト」へ記入します。

⑤ 非常持ち出し品(避難リュック)、非常備蓄品、防災準備品の点検を毎年4月に実施し、園外保育実施前にも確認します。

⑥毎月以下の安全点検を実施します。

- 非常備蓄品

- 懐中電灯 飲料水 粉ミルク オムツ 食料品

- 防災準備品

- 消火器 バケツ 汲置きした水 靴 シート

- 救急箱 携帯電話 金槌 スコップ

⑦防災管理に関する要望や意見を各家庭や近隣住民より収集し協力体制を築きます。

3. 事故防止

保育士は定期安全点検を実施し事故防止に備えます。まず、点検の対象となる建物、設備、ピアノ、整理棚など対象物ごとに点検すべき事項を検討して「設備点検チェックリスト」を作成し、職員全員で年に2回点検を行います。これにより、点検漏れを防ぐとともに、潜在危険を生じやすい設備・備品等に気づき、事故防止を徹底します。

4. 事故発生時

1) ケガ、事故発生時対応マニュアル

ケガ、事故が発生した場合に、迅速かつ適切な対応が行えるよう、園長をはじめ保育士全員が共通認識をもち、普段から対応できるようにするためのフローチャートを作成しています。

2) 報告・判断・説明

ケガ、事故発生時には、直ちに応急手当を実施すると同時に、報告・連絡を行い、ケガの状態・程度・部位により医療機関を受診する必要性の有無の判断を的確に行います。

ケガの大小に関わらず、お迎え時には詳しい説明と報告を行います。

3) 事故記録簿

実際に事故が起きた場合には、経緯・対応・処置・発生状況・受診記録・改善策を詳細に記録し、これらの記録を基に、事故防止、安全対策について再検討し、以後の事故防止に努めます。

4) 安全教育

安全に行動する態度・習慣・知識の育成を「日常の保育計画」に盛り込み計画的に行います。年齢や発達段階に応じて、「自身を守る」ために必要な判断力・体力・瞬発力・調整力等を養うのに有効な遊び方、生活の仕方を工夫した保育を実践します。

5・衛生管理

当園では、以下の衛生管理を実施します。

1. 児童の保健衛生

1) 登園時

- ・視診 : 顔色、体調、表情等の健康状態を観察します。
- ・口頭確認 : 保護者さまに家庭での様子を口頭で確認します。
- ・連絡帳 : 家庭での前日からの様子を確認します。
- ・検温 : 検温も含め園において子どもの体調を観察します。
- ・爪 : 爪が伸びていたら、保護者さまに切っていただくようお願いいたします。

2) 保育中

- ・睡眠中 : 目顔（目や顔の表情）や呼吸の状態を観察します。午睡中の乳児、授乳後、風邪症状が見られる時には、特に細かく観察します。
- ・食事中 : 食欲の有無などから健康状態を観察把握します。咀嚼（かむ）や嚥下（飲み込む）が上手くいかない状況が認められる場合には、家庭とも連絡を図りながら問題を改善していきます。

3) 身体測定

- ・実施回数 : 毎月身長・体重を測定し記録します。
- ・実施結果 : 保護者さまが発育状況を把握できるよう努めます。

4) 定期健診

- ・実施回数 : 内科健診：年に2回（9月・3月）実施します。
歯科健診：年に1回（6月）実施します。
- ・実施担当者：嘱託医

2. 施設の保健衛生

1) 厨房の衛生管理

「衛生管理点検表」「検食簿」を毎日記録し、調理師の服装チェック及び食材の温度チェックを行います。「取り扱い点検簿」は食材搬入時に記録します。

2) 消毒

園が定める以下8項目の「消毒方法」を遵守し、施設の消毒及び清掃を行います。

手洗い 室内 調理器具 備品 食器類 リネン 厨房 トイレ

3) 衛生点検

「衛生点検チェックリスト」に基づいて、園の消毒及び清掃、児童衛生環境整備などの自主点検を年に2回実施します。

3. 感染症対応

当園では、厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」に基づき感染症対応を行います。

※「保育所における感染症対策ガイドライン」は園のホームページでダウンロードできますので、ご家庭でも是非ご覧ください。

1) 早期発見

早期発見：日頃から健康診断や観察により子どもの状態について正常時の状態を把握し、異常を早期発見します。

確認時：感染症の疑いがあれば、嘱託医に相談したうえ保護者さまにご連絡いたします。

2) 感染症の発生時

保護者さまからの連絡：医師より「感染症」と診断された場合は、保護者さまより園へ速やかにご連絡ください。

保護者さまからご連絡を受けた後、園では迅速に以下の対応をします。

- ① 「発症状況」と「病気情報」を掲示する。
- ② 必要に応じて全保護者さまに通知いたします。

3) 登園の再開：医師のサインが入った「治癒証明書」の提出をもって登園の再開となります。

4) 感染症への配慮

- ・施設衛生管理：施設の定期的な衛生管理（前述）を実施します。
- ・調理：調理工程等における重要管理事項を定めた大量調理施設衛生管理指針を遵守します。
- ・研修：調理師は食品の衛生管理に関する研修に積極的に参加します。
- ・検便：調理師は毎月、保育士は年に2回（6月・2月）実施します。
- ・手洗い：児童及び職員全員に対して手洗いを徹底します。アルコール消毒のポンプも常設します。

6・苦情処理

当園では、保護者の皆さまから寄せられた苦情について、適切に対応し、誠心誠意その解決にあたります。苦情内容及びその解決については、個人情報に関するものや申込者が拒否された場合を除き、園のホームページに公表し、保育園の更なる改善に役立てます。

当園では、社会福祉法人法第82条の規定により、保護者の皆さまからの苦情に適切に対応すべく下記「苦情処理体制」を整えています。

本園への苦情・ご要望等は保育園職員までご遠慮なくお申し付けください。

1. 苦情処理体制

- ・苦情解決責任者 : 塚本 美志 (星のまち保育園 園長)
- ・苦情受付担当者 : 榊原 咲奈 (星のまち保育園 主任)
- ・第三者委員 : 西尾 真由美 (学校心理士・上級教育カウンセラー) TEL : 080-5130-2403
: 松原 孝子 (民生委員)

2. 苦情処理の方法

1) 苦情の受付

保護者さまからの苦情については、面接・電話・書面・eメールなどの方法により、苦情受付担当者が受け付けます。また、第三者委員へ直接苦情をご連絡いただくことも可能です。

2) 苦情受付の報告・確認

苦情受付担当者が受け付けた苦情については、苦情解決責任者、及び第三者委員（苦情申出人が第三者委員への報告を拒否した場合を除く）に報告します。第三者委員は内容を確認し、苦情申出人に対して報告を受けた旨を通知します。

3) 苦情解決のための話し合い

苦情解決責任者は、苦情申出人と誠意をもって話し合い、その解決に努めます。その際、苦情申出人は第三者委員の助言や立会いを求めることができます。

尚、第三者委員の立会いによる話し合いは次のように行います。

- ① 第三者委員の立会いによる苦情内容の確認
- ② 第三者委員による解決案の調整・助言
- ③ 話し合いの結果や改善事項等の確認

※苦情解決公表フォーム（例）

受付日	平成24年4月10日（金）
受付担当者	クラス担任 ⇒ 主任保育士 ⇒ 園長
分類 (複数回答可)	<input type="checkbox"/> ①職員の対応 / <input checked="" type="checkbox"/> ②ケガ・病気 / <input type="checkbox"/> ③給食・保健衛生 <input type="checkbox"/> ④設備・備品 / <input type="checkbox"/> ⑤行事 / <input type="checkbox"/> ⑥その他
具体的内容	園児が他の園児にかみつかれたことへの苦情
要望	園児同士のかみつきが二度と起きないように監督してほしい。かみついた園児の保護者に謝罪してほしい。
経過及び結果	主任、園長に報告、相談を行った。主任がかみついた園児の保護者と話し、経緯及び事実確認を行ったところ、かみついた園児に非がある旨、確認された。園長よりかみつかれた園児の保護者に説明及び謝罪を行い、後日かみついた保護者より直接謝罪を行い、両者和解した。
改善策	職員会議に議題としてあげ、以下の改善策を実行することとした。 1. かみつ癖のある園児を言葉で諭す。 2. 職員が更に見守り、未然防止に努める。 3. 他の園児に危害を加えた記録を残す。

0 歳児 服装・持ち物リスト

★服装（動きやすい物、着脱しやすい物）			
★毎日の持ち物 (手さげカバンに以下の物を入れてご持参ください。)		荷物が全て入る大きさのもの（チャックなどで閉じられるもの）をご用意ください。 ※小さく収納できるもの	
	口拭きタオル	15cm×15cm ぐらいのミニタオル	3 枚
	ガーゼ（ミルクを飲む子のみ）		5 枚
	タオルで作ったエプロン	30cm×30cm ぐらいのタオルで手作りしてください	3 枚
	補充する衣服とおむつ	オムツにも名前をお書きください。	
	連絡帳		
★週末に持ち帰る物			
	カラーキャップ		
	午睡用布団一式	シーツを洗濯し布団を干して、月曜日にご持参ください。	
★保育園で保管する物			
	肌着	ロンパースはなるべく避けてください。	2 枚
	上着（T シャツ等）		3 枚
	ズボン		3 枚
	エプロン予備		3 枚
	おしり拭き用フェイスタオル		2 枚
	カラーキャップ		
	口拭きタオル予備		3 枚
	おしりふき用コットン	濡れていないもの。園で濡らして使用します。	1 箱
	おむつ		10 枚
	哺乳瓶(乳首付)（ミルクを飲む子のみ）		1～3 本
	午睡用布団一式（枕なし）		
	名札		
<p>※全ての持ち物や衣類には名前(フルネーム・ひらがな表記)をお書きください。 ※布団一式について…敷布団・上に掛ける物（掛け布団・タオルケット・毛布など）は季節に応じてご準備ください。 ※スタイ（よだれかけ）…必要な場合はご用意ください。</p>			
★新学期に集める物		<p>※園児全員で使用しますので名前を書かないでください。 ※なくなりしだい再度集めさせていただきます。</p>	
	ティッシュペーパー		3 箱
	ビニール袋	25cm×35cm 以上の物	100 枚
	手つきビニール袋		100 枚
	雑巾（新品）	白地、柄物	各 2 枚
	キッチン用ペーパータオル		2 巻
★お願い			
<p>・身に付ける物やタオルなどは、毎日清潔な状態を心がけてください。 ・衣類は着脱しやすい物、動きやすい物をご用意ください。</p>			

1 歳児 服装・持ち物リスト

★服装（動きやすい物、自分で着脱しやすい物）			
くつ（自分で着脱しやすい物、サンダル・ブーツは不可）			
★毎日の持ち物 (手さげカバンに以下の物を入れてご持参ください)		荷物が全て入る大きさのもの（チャックなどで閉じられるもの）をご用意ください。 ※小さく収納できるもの	
	口拭きタオル	15cm×15cm ぐらいのミニタオル	3 枚
	タオルで作ったエプロン	30cm×30cm ぐらいのタオルで手作りしてください。	3 枚
	補充する衣服とおむつ	オムツにも名前をお書きください。	
	連絡帳		
★週末に持ち帰る物			
	カラーキャップ		
	午睡用ねまき（ストレッチのきいたもの上下）	巾着袋などの袋に入れてください。	
	午睡用バスタオル（大きめのもの）		2 枚
★保育園で保管する物			
	肌着	ロンパースはなるべく避けてください。	2 枚
	上着（Tシャツ等）		3 枚
	ズボン		3 枚
	エプロン予備		2 枚
	おしり拭き用フェイスタオル		2 枚
	口拭きタオル予備		1 枚
	おむつ 又はパンツ		5 枚
	午睡用バスタオル（大きめのもの）	（通常の午睡用布団セットは必要ありません。）	2 枚
	午睡用ねまき（ストレッチのきいたもの上下）	巾着袋などの袋に入れてください。	
	カラーキャップ		
	名札		
※全ての持ち物や衣類には名前(フルネーム・ひらがな表記)をお書きください。 ※スタイ（よだれかけ）…必要な場合はご用意ください。			
★新学期に集める物		※園児全員で使用しますので名前を書かないでください。 ※なくなりしだい再度集めさせていただきます。	
	ティッシュペーパー		3 箱
	ビニール袋	25cm×35cm 以上の物	100 枚×2
	手つきビニール袋		100 枚×2
	雑巾（新品）	白地、柄物	各 2 枚
	キッチン用ペーパータオル		2 巻
★お願い			
<ul style="list-style-type: none"> ・身に付ける物やタオルなどは、毎日清潔な状態を心がけてください。 ・衣類は着脱しやすい物、動きやすい物をご用意ください。 			

2歳児 服装・持ち物リスト

★服装（動きやすい物、自分で着脱しやすい物）			
くつ（自分で着脱しやすい物、サンダル・ブーツは不可）			
★毎日の持ち物 (通園カバンに以下の物を入れてご持参ください)		★通園カバン	
	口拭きタオル	15cm×15cm ぐらいのミニタオル	3枚
	タオルで作ったエプロン	30cm×30cm ぐらいのタオルで手作りしてください	2枚
	補充する衣服とおむつ	オムツにも名前をお書きください。	
	おたより帳 / 連絡帳		
★週末に持ち帰る物			
	カラーキャップ		
	午睡用バスタオル（大きめのもの）	（通常の午睡用布団セットは必要ありません。）	2枚
	午睡用ねまき（ストレッチのきいたもの上下）	巾着袋などの袋に入れてください。	
★保育園で保管する物			
	肌着（シャツ）		2枚
	上着（Tシャツ等）		2枚
	ズボン		2枚
	エプロン予備		2枚
	おしり拭き用フェイスタオル		2枚
	口拭きタオル予備		3枚
	おむつ 又はパンツ		5枚
	午睡用バスタオル（大きめのもの）	（通常のおひるね布団セットは必要ありません。）	2枚
	午睡用ねまき（ストレッチのきいたもの上下）	巾着袋などの袋に入れてください。	
	カラーキャップ		
	防災クッション		
	名札		
※全ての持ち物や衣類には名前(フルネーム・ひらがな表記)をお書きください。			
※スタイ（よだれかけ）…必要な場合はご用意ください。			
★新学期に集める物		※園児全員で使用しますので名前を書かないでください。 ※なくなりしだい再度集めさせていただきます。	
	ティッシュペーパー		3箱
	ビニール袋	25cm×35cm 以上の物	100枚×2
	手つきビニール袋		100枚×2
	雑巾（新品）	白地、柄物	各2枚
	キッチン用ペーパータオル		2巻
★お願い			
<ul style="list-style-type: none"> ・身に付ける物やタオルなどは、毎日清潔な状態を心がけてください。 ・衣類は着脱しやすい物、動きやすい物をご用意ください。 			

3歳児 服装・持ち物リスト

★服装（制服で登園）			
くつ（自分で着脱しやすい物、サンダル・ブーツは不可）			
★毎日の持ち物 (通園カバンに以下の物を入れてご持参ください)		★通園カバン	
	口拭きタオル		2枚
	おたより帳 / 連絡帳		
	コップと歯ブラシ(キャップ付) ※巾着袋などの袋に入れてください。	4月当初は必要ありません。 必要となりましたら手紙等でお知らせ致します。	
	ハンカチ		
★週末に持ち帰る物			
	カラーキャップ		
	午睡用バスタオル（大きめのもの）		2枚
	午睡用ねまき（ストレッチのきいたもの上下）	巾着袋などの袋に入れてください。	
★保育園で保管する物			
	肌着（シャツ）	着替え用	2枚
	パンツ		2枚
	上着（Tシャツ等）		2枚
	ズボン		2枚
	午睡用バスタオル（大きめのもの）	（通常の午睡用布団セットは必要ありません。）	2枚
	午睡用ねまき（ストレッチのきいたもの上下）	巾着袋などの袋に入れてください。	
	カラーキャップ		
	防災クッション		
★新学期に集める物		※園児全員で使用しますので名前を書かないでください。 ※なくなりしだい再度集めさせていただきます。	
	ティッシュペーパー		2箱
	ビニール袋	(25cm×35cm以上の物)	100枚
	手つきビニール袋		100枚
	雑巾（新品）	(白地、柄物)	各2枚
	フェイスタオル		1枚
	キッチン用ペーパータオル		2巻
★お願い			
<ul style="list-style-type: none"> ・身に付ける物やタオルなどは、毎日清潔な状態を心がけてください。 ・衣類は着脱しやすい物、動きやすい物をご用意ください。 ・持ち物や衣類には名前(フルネーム・ひらがな表記)をお書きください。 			

年齢別食育計画

年齢	【6ヶ月～1歳3ヶ月未満児】	【1歳3ヶ月～2歳未満児】	【2歳児】	【3歳児】	【4歳児】	【5歳児】	
育てたい子どもの姿【ねらい】	<ul style="list-style-type: none"> 食事の時間を迎え、自分から食べようとする意欲を持つ 乳(母乳、ミルク)を飲み、離乳食を食べて心地よい生活を送る 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で自分で食事をはじめ、いろいろな食品や調理形態に慣れる 楽しい雰囲気の中で自分で食事をしよとし、好きな食べ物が食べられる 	<ul style="list-style-type: none"> よく遊び、よく眠り、食事を楽しむ いろいろな種類の食品や調理形態に慣れる よく噛んで食べる 食事後、水を飲んで口のなかきれいになる心地よさを感じる 食事前後や汚れた時、顔や手が清潔になる心地よさを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者を仲立ちとして、友だちと一緒に食べる楽しさを味わう 安定的な雰囲気やマナーを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で友だちと一緒に食事をする 愛情や思いやりの心を持てる 食への興味、関心を持ち、食の体験を通して、食材に興味や関心を持つ いろいろな食材や料理を味わい、豊かな感性を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた雰囲気の中で、友だちと一緒に楽しんで食事を 食事の大切さやマナーがわかる 食べ物と身体の関係に関心を持つ 地域の食文化を経験する 	
食育の四つの目標	内 容						
① 食を気づかう【健康づくり】	<ul style="list-style-type: none"> よく遊び、よく眠る 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな種類の食品や調理形態に慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> よく噛んで食べる 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな種類の食品や調理形態に慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな食べ物に興味を持ち、喜んで食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 食事の大切さを知る 身体や健康に関心を持つ 	
② 食を楽しむ【コミュニケーション】	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で自分で食事をしよとする 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな種類の食品や調理形態に慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> よく噛んで食べる 	<ul style="list-style-type: none"> 食事後、水を飲んで口のなかきれいになる心地よさを感じる 食事前後や汚れた時、顔や手が清潔になる心地よさを感じる 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に食事をしよとする 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちと一緒に食事をしよとする 愛情や思いやりの気持ちを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 友だちや親子間での食事を通じて愛情や思いやりの気持ちを持つ 簡単な調理に参加し楽しむ
③ 食に感謝する【食作法】	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の真似をして、食前・食後のあいさつをしよとする 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に、作物を見たり触れたりする 	<ul style="list-style-type: none"> 手づかみでも、自分で食べよとする スプーンやフォークを使って食べることに慣れる コップで飲むことに慣れる 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉でいただきます「ごちそうさま」のあいさつをする 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物を生長する様子を観察しよとする 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物を生長を見守り、作物に名前を付けることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物を作ってくれる人へ関心や感謝の気持ちをもつ 作物の生長に興味を持ち、愛情を持って育て、前大切な味わい
④ 食を学び伝える【食文化の伝承】	<ul style="list-style-type: none"> 用紙された食べ物に興味を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 完全給食、おやつ2回 家庭や保育所での食育活動の発達を促していくことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食材に興味・関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食材に興味・関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食材に興味・関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食材に興味・関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食材に興味・関心を持つ
食事	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが食育活動の発達を促していくことができる 家庭や保育所での食育活動の発達を促していくことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 完全給食、おやつ2回 家庭や保育所での食育活動の発達を促していくことができる 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食材に興味・関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食材に興味・関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食材に興味・関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食材に興味・関心を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食材に興味・関心を持つ
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 園外での散歩や交流会を通して、地域の方々と触れ合う 	<ul style="list-style-type: none"> 園外での散歩や交流会を通して、地域の方々と触れ合う 	<ul style="list-style-type: none"> 園外での散歩や交流会を通して、地域の方々と触れ合う 	<ul style="list-style-type: none"> 園外での散歩や交流会を通して、地域の方々と触れ合う 	<ul style="list-style-type: none"> 園外での散歩や交流会を通して、地域の方々と触れ合う 	<ul style="list-style-type: none"> 園外での散歩や交流会を通して、地域の方々と触れ合う 	<ul style="list-style-type: none"> 園外での散歩や交流会を通して、地域の方々と触れ合う

保育所は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について治癒証明書の提出をお願いします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での保育所生活が可能な状態となつてからの登園であるようご配慮ください。(学校保健安全法施行規則第 19 条 第二種、第三種感染症)

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発しん出現後の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過してから
インフルエンザ	症状が有る期間（発症前 24 時間から発病後 3 日程度までが最も感染力が強い）	発症した後 5 日を経過し、かつ解熱した後 2 日を経過するまで（幼児(乳幼児)にあつては 3 日を経過するまで）
風しん	発しん出現の前 7 日から後 7 日間くらい	発しんが消失してから
水痘（水ぼうそう）	発しん出現 1～2 日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下線腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから 5 日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え 2 日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111 等）		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48 時間をあけて連続 2 回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から 1～2 週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで

SIDS（乳幼児突然死症候群）

今まで元気だった赤ちゃんが、ある日突然死んでしまう。

SIDS（乳幼児突然死症候群）は原因不明の病気で、「赤ちゃんのぼっくり病」と言われています。

この病気は世界中にみられ、日本でも多くの赤ちゃんが命を落としています。

●SIDSの特徴

- ① ほとんどが昼夜を問わず睡眠中に起こっています。
- ② 声を上げたり、もがき苦しんだりすることなく、スーッと亡くなってしまいます。

●SIDSについて現在わかっていること

- ① 生後2ヶ月の赤ちゃん（4～6ヶ月がピーク）から、2歳ごろまで発症する可能性があります。
- ② 日本ではSIDSで亡くなる赤ちゃんは「2,000人に1人（年間約600人～700人）」と言われています。
また、生後4ヶ月の死亡原因の59%がSIDSとされています。
- ③ SIDSの原因、遺伝するかどうかなどはわかっていません。

●気をつけるべきこと

- ① 赤ちゃんは「うつぶせ寝」をやめ、「仰向け」か「横向き」に寝かせる。
- ② 暖めすぎない。（布団を掛けすぎない。布団を頭からすっぽり掛けない。）
- ③ 妊娠中、並びに少なくとも生後1歳になるまでは、赤ちゃんの周りで喫煙しない。
- ④ できるかぎり母乳で育てる。

この病気はいつどこで発症するのかわかっていません。

お子さまをお預かりしている保育内で起こるかもしれません。

当園では、SIDSだけでなく窒息などの原因にもなりかねませんので、「うつぶせ寝」ではなく、「仰向け寝」か「横向け寝」とします。

また、健康チェックをこまめに行い、体調には十分注意して保育します。特に2歳までは細心の注意が必要です。お子さまの体調がすぐれないときは、決して無理をさせません。

予防接種と対象年齢

予防接種名	名古屋市の標準的な接種年齢	法律による対象年齢	接種会場
BCG	3ヶ月児健康診査時に併せて実施	1歳未満	保健所
小児用肺炎球菌	I期初回：2～12ヶ月に3回 II期追加：12～15ヶ月に1回	生後2ヶ月～ 90ヶ月未満	かかりつけの医師にご相談ください。
ジフテリア 百日咳 破傷風 ポリオ (DPT-I PV 4種混合)	I期初回：3～12ヶ月に3回 I期追加：初回接種後12～18ヶ月に1回	3～90ヶ月に3回、 初回終了後6ヶ月以上 の間隔を置く	
麻疹 風疹 (MRワクチン)	I期：12～24ヶ月未満 II期：5歳以上7歳未満で、小学校就学前年度の4月1日～3月31日までの期間		
日本脳炎	I期初回（2回法）：6～90ヶ月未満 I期追加：6～90ヶ月未満 II期：9歳～13歳未満		
水痘	I期初回：1歳以上で2回		
ヒブ	I期初回：2～12ヶ月に3回 II期追加：12～18ヶ月に1回		

任意の予防接種

任意の予防接種	対象年齢	接種回数
インフルエンザ	全年齢	2回
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	1歳以上の未罹患者	1回
B型肝炎	0歳以上の未罹患者	3回
ロタウイルス	2ヶ月以上の未罹患者	3回
A型肝炎	1歳以上の未罹患者	3回

※＜摂取間隔＞

- ・生ワクチン：4週以上（BCG・MRワクチン・流行性耳下腺炎・水痘・ロタ）
- ・不活性ワクチン：1週以上（4種混合・日本脳炎・インフルエンザ・A型肝炎・B型肝炎・ヒブ・小児用肺炎球菌）

与薬依頼書について

1. 主治医の診察を受けるときには、お子様が現在〇〇時から〇〇時まで保育園に在園していること、及び保育園では原則として薬の使用が出来ない旨をお伝えのうえ、なるべく朝・夕の2回の与薬で済むよう、主治医とご相談ください。昼の与薬が必要な場合はその旨が記載された処方箋をご提出ください。
2. お子様への与薬は、万全を期するため「与薬依頼書」に必要事項を記載していただき、薬に添付して保育園の職員に直接手渡していただきます。本来は保護者の方が登園して与薬いただくのが原則ですが、やむを得ない場合かつ保護者の方が登園できない場合には、保護者と園側で話し合いのうえ、保育園の担当者が保護者に代わって与薬いたします。
3. 薬はお子様を診察した医師が処方し調剤したもの、又はその医師の処方によって薬局で調剤したものに限り、保護者の個人的な判断で持参した薬は、保育園では与薬できません。
4. 座薬の使用は原則として行いません。熱性けいれん等、やむを得ず使用する場合は医師からの具体的な指示書を添付してください。（初めて使用する座薬については対応できません。）尚、使用に当たっては、その都度保護者の方にご連絡しますので、ご承知ください。
5. 「熱が出たら飲ませる」「咳が出たら・・・」「発作が起こったら・・・」というように症状を判断して与薬しなければならない場合、保育園としてはその判断ができません。その都度保護者の方にご連絡することになりますので、ご承知ください。
6. 慢性の病気（気管支炎・てんかん・アトピー性皮膚炎・糖尿病などのように、経過が長引くような病気）の日常における投薬や処置については、保育所保育指針によって、子どもの主治医又は嘱託医の指示に従うとともに、相互の連帯が必要となります。
7. 家庭から持参する薬について
 - (1) 医師が処方した薬には必ず「与薬依頼書」及び「処方箋」を添付してください。
 - (2) 薬は必ず園の職員に直接手渡してください。
 - (3) 薬は一回ずつに分けてご用意ください。水薬も一回分ずつ容器に入れてください。
 - (4) 袋や容器には必ず園児名と与薬の時間を記入してください。
8. 家庭から持参する薬について
「与薬依頼書」は保育園でも入手できますし、保育園のホームページからもダウンロードできます。

URL : www.philos2011.com

与薬依頼書 月 日

薬の情報とともに与薬を依頼します

クラス		児童名	
受診日			
医院名			
症状	せき 下痢 その他	鼻水 耳垂れ	鼻づまり
処方してもらった日		月 日に	日分
飲み薬	粉薬 包 シロップ	食前	食後
塗り薬	塗布部位		
預かり	与薬		
	与薬時間		

与薬依頼書 月 日

薬の情報とともに与薬を依頼します

クラス		児童名	
受診日			
医院名			
症状	せき 下痢 その他	鼻水 耳垂れ	鼻づまり
処方してもらった日		月 日に	日分
飲み薬	粉薬 包 シロップ	食前	食後
塗り薬	塗布部位		
預かり	与薬		
	与薬時間		

与薬依頼書 月 日

薬の情報とともに与薬を依頼します

クラス		児童名	
受診日			
医院名			
症状	せき 下痢 その他	鼻水 耳垂れ	鼻づまり
処方してもらった日		月 日に	日分
飲み薬	粉薬 包 シロップ	食前	食後
塗り薬	塗布部位		
預かり	与薬		
	与薬時間		

与薬依頼書 月 日

薬の情報とともに与薬を依頼します

クラス		児童名	
受診日			
医院名			
症状	せき 下痢 その他	鼻水 耳垂れ	鼻づまり
処方してもらった日		月 日に	日分
飲み薬	粉薬 包 シロップ	食前	食後
塗り薬	塗布部位		
預かり	与薬		
	与薬時間		

与薬依頼書 月 日

薬の情報とともに与薬を依頼します

クラス		児童名	
受診日			
医院名			
症状	せき 下痢 その他	鼻水 耳垂れ	鼻づまり
処方してもらった日		月 日に	日分
飲み薬	粉薬 包 シロップ	食前	食後
塗り薬	塗布部位		
預かり	与薬		
	与薬時間		

与薬依頼書 月 日

薬の情報とともに与薬を依頼します

クラス		児童名	
受診日			
医院名			
症状	せき 下痢 その他	鼻水 耳垂れ	鼻づまり
処方してもらった日		月 日に	日分
飲み薬	粉薬 包 シロップ	食前	食後
塗り薬	塗布部位		
預かり	与薬		
	与薬時間		

